

(福)大東福祉会

大垣市・福祉

従業員数 / 男性35名 女性80名 計115名 ※令和7年10月現在

**エクセレント
POINT**

- ①インカムの配備、ICT導入等で無駄な動きを削減し業務を効率化
- ②施設内の学校で勤務時間内に国家試験対策
- ③地域にも開放されたキッズスペースを設置し、子連れ出勤が可能



職員同士がインカムで連絡を取り合うことで、トイレ等への誘導がスムーズに。大声で職員を呼び出すこともなくなった。

大東福祉会では、新しいことを積極的に取り入れて業務改善に役立てる雰囲気根付いており、2019年の夏にはディサービスに業務管理システムを導入。これまで複数の職員が対応していた家族への連絡事項の記入が、1人で済むようになり、職員が利用者と向き合える時間が増加した。同時に全職員にインカムも配備したことで、記入の際にわからないこと

施設内の学校でスキルアップ。

があればすぐに聞くことができる。また、インカムの配備により、入浴や排せつ介助時に緊急の対応が必要になった場合もすぐに看護師を呼ぶことができるようになり、利用者のプライバシーへの配慮がしやすくなった。フロアリーダーの他田進さんは「職員の無駄な動きが減った上、大声で職員を呼ぶこともなくなったため、利用者は落ち着いて過ごせるようになった」と効果を実感する。

さらには、職員のスキルアップのために、施設内に学校を開設。受講費用は法人が負担している。国家資格である介護福祉士を受験するために必須の実務者研修は毎年職員5人ほどが受講しており、受講時間は勤務時間としてカウントされている。常に職員を2人多く配置しているため、講座の受講や体調不良等による欠勤に柔軟に対



施設内のキッズスペース。大垣市のファミリーサポート事業の場所としても開放されており、地域住民は気軽に利用することができる。

応することが可能となっている。

事業所内にキッズスペースを設置している点も子育て中の職員から評価が高い。子連れ出勤が可能なのはもちろん、大垣市のファミリーサポート事業(事前に登録がある小学6年生までの子ども預かり等を、サポート会員が支援する仕組み)の場所としても開放しており、地域住民にとっても馴染みの場所となっている。